

会 議 録

1 会議名

平成26年度第2回有田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

・平成26年度地域活動支援事業について（公開）

①提案者による提案説明、質疑応答

②委員協議・採決

・追加募集について

3 開催日時

平成26年5月22日（木）午後1時30分から午後3時20分

4 開催場所

上越市カルチャーセンター ミーティングルーム

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員： 青木ユキ子、秋山千恵子、市川 禅、大原久雄、樺沢早苗、木澤 勝、熊木敏夫、黒河 薫、澤田勝也、高橋秀樹、豊岡美恵子、中川 清、野島賢一、藤田明仁、松田鉄男、宮澤義幸、横川幸雄、吉川建嗣

・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、滝澤係長、星野主任

8 発言の内容

【関川センター長】

本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。それでは只今から第2回有田区地域協議会を開催いたします。本日の出席人数ですが、18名です。地域自治区の設置に関する条例第8条第2項によりまして、委員の過半数の方が出席されておりますので、本会議が成立することをご報告いたします。それでは最初に会長か

らご挨拶をお願いいたします。

【熊木会長】

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。一応有田区も南部の方で田植えも終わりました、各団体の総会も終わりましたし、新年度のスタートを切った時期だと思います。当協議会も一番大事なスタートを切る会議になろうかと思しますので、よろしくをお願いいたします。

【関川センター長】

ありがとうございました。

それでは同条例第8条第1項の規定によりまして、会長から議長を務めていただきます。よろしくをお願いいたします。

【熊木会長】

それでは次第に沿って進めさせていただきます。本日の会議終了予定時刻は3時頃を目標に進めていきたいと思しますので、スムーズな進行に御協力をお願いします。本日の会議録の確認ですが名簿順で豊岡委員と中川委員をお願いします。よろしくをお願いいたします。

では議題に入ります。提案状況及び本日の審議の進め方について、事務局より説明をお願いします。

【滝澤係長】

— 資料に基づき補足説明 —

【熊木会長】

ありがとうございました。では、これから各団体の代表者から提案の趣旨説明をいただきたいと思いますが、委員には提案書の写しを事前に配付してありますので、おおよその内容はみなさん承知されていると思うので、提案者には提案書に記載のないもので補足することがあれば、説明をお願いいたしたいと思します。

では、「提案No.1 有田こどもフェスタ事業」について、提案者の説明をお願いします。

【提案No.1 有田こどもフェスタ事業提案者】

— 資料に基づき補足説明 —

【熊木会長】

資料はみなさん全員お読みだと思するので、質問があればお受けします。

(特にありませんの声あり)

【熊木会長】

ありがとうございました。

(提案者入れ替え)

続きまして「提案No.2 有田区全域防災訓練(災害時用ポータブルトイレ式配備) 事業」について、提案者の方をお願いします。

【提案No.2 有田区全域防災訓練(災害時用ポータブルトイレ式配備) 事業提案者】

— 資料に基づき補足説明 —

【熊木会長】

質問等ありますでしょうか。

(なしの声)

はい、ありがとうございました。

(提案者入れ替え)

続きまして「提案No.3 春日新田、安江、佐内町、三ツ屋町1 1 町内伝統行事活性化事業」について、提案者の方をお願いします。

【提案No.3 春日新田、安江、佐内町、三ツ屋町1 1 町内伝統行事活性化事業提案者】

— 資料に基づき補足説明 —

【木澤委員】

子ども用の草履ってなっているけど、今の子どもは大人より足が大きいですよ。その辺りどのようにお考えですか。

【提案No.3 春日新田、安江、佐内町、三ツ屋町1 1 町内伝統行事活性化事業提案者】

子ども用の一番大きいサイズで、各町内でお使いになっている実績をもとにこれくらいがいいだろうということで提案しています。ちなみに小さいのも大きいのも値段は一緒です。

【木澤委員】

一緒ですね。分かりました。

【熊木会長】

他にありませんでしょうか。無いようですので、ありがとうございました。

(提案者入れ替え)

続きまして「提案No.4 有田地区体育・レクリエーション協会事業」について、提案者の方をお願いします。

【提案No.4 有田地区体育・レクリエーション協会事業提案者】

— 資料に基づき補足説明 —

【熊木会長】

ありがとうございました。質問のある方はいらっしゃいますか。よろしいでしょうか。

(はいの声)

どうもありがとうございました。

(提案者入れ替え)

続きまして「提案No.5 有田地区町内会管理街灯LED化整備事業」について、提案者の方をお願いします。

【提案No.5 有田地区町内会管理街灯LED化整備事業提案者】

— 資料に基づき補足説明 —

【澤田委員】

これは修理を要するところから手を付けるということですか。それとも一斉に交換するのですか。

【提案No.5 有田地区町内会管理街灯LED化整備事業提案者】

修理を要するというよりも、町内の中で効果があると思われる個所を選定します。各町内によって事情が違いますので各町内会の要望を確認しています。

【澤田委員】

まだ電球の寿命があっても、効果がある場所は替えるということですか。

【提案No.5 有田地区町内会管理街灯LED化整備事業提案者】

それは町内の事情を見ながら検討していきます。

【熊木会長】

他にございませんか。それでは提案者の説明を終わりたいと思います。ありがとうございます。

(提案者入れ替え)

続きまして「提案No.6 小猿屋小学校区夏祭り行事活性化事業」について、提案者の方、説明をお願いします。

【提案No.6 小猿屋小学校区夏祭り行事活性化事業提案者】

— 資料に基づき補足説明 —

【熊木会長】

どなたか質問がある方、いらっしゃいますか。

【高橋委員】

提案書の支出の部の屋台やアトラクションですが、これは毎年これくらい掛かりますか。

【提案No.6 小猿屋小学校区夏祭り行事活性化事業提案者】

これを、特に①番、②番について同じようなものを使うかどうかというのは、実際にどういうふうにしてこの祭りを構成するかという企画段階の中で決定するものですから、①番、②番については多少変更があるかと思います。それ以外のものについては、基本的には変わらないというふうにお考えいただければと思います。

【熊木会長】

その他にありませんでしょうか。

【野島委員】

すみません。予算書の中の支出の一番下の方に、交通誘導員2万7,000円と書いてある。これはどういう計算ですか。

【提案No.6 小猿屋小学校区夏祭り行事活性化事業提案者提案者】

はい。2名で1時間2,500円。15時から20時までで、計10時間という計算になります。

【熊木会長】

他に質問はございませんでしょうか。

【澤田委員】

安全協会というのは小猿屋小学校区にはないのですか。

【提案No.6 小猿屋小学校区夏祭り行事活性化事業提案者】

有田地区の安全協会という形では存在しています。

【澤田委員】

そういう人たちが担当するわけにはいかないのですか。

【提案No.6 小猿屋小学校区夏祭り行事活性化事業提案者者】

これは特に事故等との関連もありますので、専門の誘導員を雇ったほうが安全管理等、確実ですので、そのようにしております。

【澤田委員】

専門というのは警備会社ですか。

【提案No.6 小猿屋小学校区夏祭り行事活性化事業提案者】

そうです。

【熊木会長】

他にありませんでしょうか。

それではどうもありがとうございます。

(提案者入れ替え)

続きまして「提案No.7 中学生自立支援事業」について、説明を求めます。

【提案No.7 中学生自立支援事業提案者】

— 資料に基づき補足説明 —

【熊木会長】

それでは今の提案に関して質問のある方いらっしゃいますか。

無いようですので、ご苦労さまでした。

(提案者入れ替え)

続きまして「提案No.8 第5回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業」について、提案者の説明を求めます。

【提案No.8 第5回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業提案者】

— 資料に基づき補足説明 —

【熊木会長】

ありがとうございました。それでは質問のある方いらっしゃいますか。

【松田委員】

あの花壇自体、だいたい何が植えてあるか分からないのですが。

【提案No.8 第5回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業提案者】

今、花代の補助ということで提案してございますけれども、花については参加者にお任せしております。花の種類については、私も詳しくないので分かりません。

【松田委員】

植えるのであれば、もうちょっときれいにしていただきたい。あそこを通ってみた限り、あまりよく手入れされていないと思う。やるのだったらもう少しきちっとやってほしいです。

【藤田委員】

関連でよろしいですか。この年間管理というのは、どうなっているのですか。その年間の管理は誰がするのですか。その祭りの時は祭りですが、そのあとはどうなのですか。

【提案No.8 第5回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業提案者】

これは、国道ですが、維持管理作業は県のほうで行っているということで、県が年2回草刈りをしています。それに我々350同友会で、年2回草刈りを実施しています。それでも追い付かないというところが正直なところでして、あとコンテストに参加者がいるところはきれいですが、参加されていない空白の場所と言いますか、空いているところは草が生えてしまっているというのが現状でして、私どもも、その辺を重点的に草取りをしている感じであります。

【中川委員】

去年の事業説明の時、青木副会長がコメントされてましたが、花に詳しいけど今回は改善されているのかな。近くの人には分かるけれども、私は離れているからイメージ浮かばないな。

【青木副会長】

年々、続けられているのは大事なことだと思いますが、去年も申しあげましたけれども、予算の約半分くらいが花代に使われるわけですね。毎年、一年草で終わってしまうところが、やはりちょっとさびしいなと思うわけで、去年も出来れば多年草を混ぜるような、次の年になっても芽が出るような仕掛けをしてもらえれば、ありがたいなというお話をさせていただいたと思います。それから時期につきましても、これから予算の関係もありますので、始めるのがどうしても遅くなってしまいます。いわゆる自然界の花のサイクルによりますと、植える時期が遅くなってしまくと、咲いている時期が短いわけですから、1年間のうち、見られるのはいいところ3か月か4か月ですね。だから皆さんがおっしゃるように、その他の咲いていない、草がぼうぼうの時が目につくということだと思います。これだけ沢山のお金をかけてもということなので、是非今回も補助をだされる時の条件として、多年草を混ぜるとか、そういうようなかたちで条件を足され

れば、来年もそこにまた芽が出てくるものは出てくると思います。提案ですが、そうしていただけるとありがたいです。

【中川委員】

事業評価はこの会ではよくできていないんだ。税金だよ。継続して補助金を活用しているんで、それをきちんとしなければ駄目だよ。一番大事なところがチェックされてないんだ。

【熊木会長】

はい、どうもありがとうございました。

【野島委員】

ちょっとお聞きしますが、ベンチですね。6万円のベンチはちょっと素晴らしいものだと思うのですが、これは、固定式のベンチなのか、それとも移動ができるベンチなのか。

【提案No.8 第5回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業提案者】

ベンチの説明をさせていただきますと、このベンチは移動できるタイプを考えております。それで当初安いベンチを多く入れようかという話もあったのですが、実際350同友会で木製のベンチを5基ほど買ったのですが、雨が当たると、濡れてそれが乾燥したりして、割れてしまいました。安物買いの銭失いだなということで、今回は同じ木製ですが、耐久性の強いものを計上させていただいております。

【野島委員】

それでね、その固定というか、移動するでしょこのベンチ。この管理、日頃の管理はどなたがやるんですか。

【提案No.8 第5回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業提案者】

これは地元の事業所の方にお問い合わせするしかないと思いますが、冬場の時はしまっただくことを350同友会から声かけさせていただきます。

【野島委員】

あの、今、固定なのか、移動式なのか、意図的に聞いたのは、これ移動式だと盗難の恐れがあるんです。高いものですからね、日常の管理がどうなるのかということのを是非ともお聞きしたんです。

【提案No.8 第5回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業提案者】

分かりました。ご指摘いただきましたこともちゃんと解決して。チェーンか何か盗難防止を考えます。

【中川委員】

チェーンじゃだめ。固定じゃなきゃだめでしょ。税金使うんだから。きちんとやってもらわないと。

【宮澤委員】

はい、ちょっといいですか。今年で4回目ですかね。年々やっぱり何か変化していますよね。ちょっとそれで一言。去年と今年とどう変わってますか。それともう1点。今青木副会長のいいお話がでたんですが、多年草について。去年はここに植えて、芽が出てこうなったというですね、そういう花を見ることと、育てる喜びだとか楽しみを町内の皆さんは分かってもらえるような企画。ただ活性化、ただ見てください、地域のどうのこうのというけど、何かもっと注目をさせて、考えさせるような方向性をもっていないと、ただパターンが一緒だと、またやってるなということになってしまうんじゃないですか。もうちょっと深く追求して、皆さんがこういう花を植えたら、植えた人はこうなっているんだよというようなね、去年植えたところは、花がまたここに出てきている。何かちょっと考えさせるような。ただ植えて、そこの活性化だけというだけではちょっと私は、もうひとつ考えてもいいんじゃないかなと思いますけどね。

【熊木会長】

だいぶたくさんの質問が出たと思いますが、そういったものも検討しながら進めてもらいたいと思います。他にないようでしたら説明を終わらせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(はいの声)

どうもご苦労さまでした。

(提案者退室)

提案者の説明が終わりましたので、続いて委員協議に入ります。提案額ですが、配分の840万円以内ですので、1件ずつ順番に提案内容について協議していただいて、採決していきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

(はいの声あり)

それでは、今ほどの提案者からの説明や、事前にお読みいただきました提案書に基づ

きまして、ご意見がありましたら、挙手のうえ、ご発言をお願いします。

まず、「提案No.1 有田子どもフェスタ事業」について、意見ありますか。

(異議なしの声)

【熊木会長】

異議がないようですので採決に移りたいと思います。それではこの提案について採択することに賛成される委員の方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

挙手全員ということで採択いたします。

続きまして「提案No.2 有田区全域防災訓練(災害時用ポータブルトイレ式配備)事業」についてです。ご意見のある方はいらっしゃいますか。

(なしの声あり)

ないようですので採決したいと思います。この提案について採決しますので、採択に賛成される委員の方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

挙手全員ということで採択いたします。

続きまして「提案No.3 春日新田、安江、佐内町、三ツ屋町11町内伝統行事活性化事業」についてです。ご意見のある方はおられますでしょうか。

ないようですので、採択に賛成される方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

全員ということで採択いたします。

続きまして「提案No.4 有田地区体育・レクリエーション協会事業」について、ご意見のある方はおりますでしょうか。

(ありませんの声あり)

【熊木会長】

それでは採決いたします。この採択に賛成の方、挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

全員。採択いたします。

「提案No.5 有田地区町内会管理街灯LED化整備事業」について、ご意見のある方はおりますでしょうか。

【中川委員】

これについて、さっきも誰かが話していましたが、今年は小猿屋小学校区だけど、来年も活動支援事業で実施されるのでしょうか。

【木澤委員】

そこがあるんで、有田地区町内会長協議会が主体となっておりますので、お話させていただきますが、基本的には、各町内についている街灯は、各町内でLEDに替えてくださいと。ただ小猿屋小学校区みたいに集落と集落の間があいているところについては、この補助金に申請したらどうかと。だから春日新田小学校区ではほとんどそういうところがないと思うんだけど。みんなつながってるから。

だからとりあえず今回については小猿屋小学校区の範囲で提案していただいて、その後春日新田小学校区にそういう場所があれば調べてもらいたいということです。

【中川委員】

調べてもらったほうがいいね。

【木澤委員】

そういうことでの提案だったと思いますが。それを含めてお考えください。

【熊木会長】

今の質問について、今回、小猿屋小学校区を対象に提案し、次年度に関しては春日新田小学校区内を調べた結果、そういうところがあれば、事業申請をしていくということでもよろしいでしょうか。

【大原委員】

私ちょっとよく分からないんですけども。LED化ということは基本的には今あるところですよ。逆に数が不足していると思うんですよ。小猿屋小学校区全体で。暗い所がいっぱいあるし。曲がり角いっぱいあるしね。逆に不足している。ただ聞いたかったのは、LEDを新設というふうに最初から要望したら、何か問題があるのかなと。

【木澤委員】

ないと思います。

【大原委員】

ないのでですか。

【木澤委員】

ただ問題はLEDにすると電気料金が安くなるので、市の負担が少なくなる。

【松田委員】

それで、私も町内会長やっていたんですが、私らの集落と中小猿屋の集落で保育園の通学道路に街灯がいっぱい付けてあるんです。ところが普通の蛍光灯は、しょっちゅう切れる。だからそういうところに、こういう予算があるからやりたいという意味だと思います。

【大原委員】

私はそういう意味もあるけれども。この提案書を見たら、今まである街灯をLED化する。切り替えということ。

【木澤委員】

切り替えです。

【熊木会長】

これは切り替えということの事業ですので。それで採決をお願いいたします。

【澤田委員】

だから今度は町内で維持管理をしなきゃいけない。次はね。従来通り。

【熊木会長】

よろしいでしょうか。それでは採択いたしますので、この採択について賛成の方、挙手を願います。

(全員挙手)

全員ですので採択いたします。

「提案No.6 小猿屋小学校区夏祭り行事活性化事業」についてですが、ご意見のある方はおりますでしょうか。

【高橋委員】

ちょっと法被の方はね、中身は分かるのですが、レンタルというものはどうなのかというのが一番引かかるんです。他の町内においても、祭りの行事だとか町内の行事でお金を出してレンタルして、お金はやっぱり20万円から30万円使っているわけですよ。有田全体に関わるようなものでレンタルとかというなら分かる。レンタルというと毎年かかるわけですね。そうすると、ここのところが一番引かかると思うんですが。

【熊木会長】

うちの町内会も30万円使っています。

【高橋委員】

うちの町内会も40万円近く掛ってます。このところが一番引かかるなと思っ
て。

【中川委員】

どういうふうにイメージしたらいいのか分からない。どんな内容ですか。

【松田委員】

夏休み期間中、小猿屋小学校で児童や保護者が集まって実施します。

【中川委員】

学校で開催するのですね。

【松田委員】

学校のグラウンドを利用して開催します。

【中川委員】

分かりました。

【木澤委員】

春日新田では、ものすごく大きい行事をやっています。これはPTAが主体となって
実施していますが、それだけでも大変な金額になるから。これくらいは自分ところで出
すような形でないと。そうしないと、あっちの屋台こっちの屋台、春日新田のフェスタ
だなんてやっていると大変になっちゃうんで。これはちょっとどうかなというのは私の
見解ではあります。

【高橋委員】

私もレンタル料はカットすべきだと思います。

【澤田委員】

このイベントには何名くらい参加しますか。

【松田委員】

生徒、保護者、青年会など、大勢の人が参加します。

【木澤委員】

世帯数が346世帯と書いてあるから。

【松田委員】

すごい数ですよ。この地域では、お祭りに屋台は引かないでしょ。だからね、ほかに盛り上がるイベントとして、こういうことをやろうということ。3年くらい前に青年会が中心になって始まりました。

【高橋委員】

内容はいいです。レンタル費を補助金で出すということについてどうかということです。

【松田委員】

確かにレンタルね。

【高橋委員】

それから交通誘導委員だとかね。これはほとんどのところでは、交通安全協会です。

【木澤委員】

春日新田の祭りは当然自分のところでお金を出してますが、やっぱり専門的な人を雇ってやっています。危ないですから。

【高橋委員】

そこが一番引っかかる場所ですね。

【熊木会長】

全員が全員じゃないですが大方の意見として、法被とかそういう部分は問題ない、認めてもいいんじゃないかと。あとレンタルの事業の方ですね。レンタルにかかる部分とその他の経費の中の誘導員の経費。補助金としてどこまで認めるという形をとるのか、それとも、もう一度精査していただいて再提出を願うか、それとも今決めちゃうか。

【松田委員】

要するに半纏代とその他の経費は認めるという格好だと思うんです。

【秋山副会長】

今ご意見があった交通誘導員、2万7,000円という部分につきましては、地元の交通安全協会に協力いただけないのかどうかということをもっと検討してもらってください。

【中川委員】

さっき聞いたら駄目だって。

【秋山副会長】

同じ有田の区内の他の町内では協力いただいているんだけど、小猿屋小学校区でも協力いただけないのかということで再検討してもらってはどうか。

【高橋委員】

1点。法被のことですが、アイロンかけたら名前が取れたということにならないように。

【木澤委員】

安い物でしょうか。

【高橋委員】

はい。だからどうせ作るんなら、長持ちするものをちゃんと作らないとだめだと思います。型代は1着あたり同じだから。そうしないと毎年子ども会のお母さんがアイロンかけたら、取れてしまって、その都度直していたら余計負担が掛かってしまいます。

【熊木会長】

それでは、いろいろな意見、今の高橋委員の意見も盛り込んだ中で、半纏代だけ認めて、そういったリスクのある部分に関して、その値段内で処理する、それか落ちてもいいからこの枚数が欲しいというというんだったら、それはそっちで任せるということでどうでしょうか。毎年申請してもらっては困りますけど。

【高橋委員】

予算もそうなんですけれども、その中でどれくらいまで値段が上がるかということで、その金額が許容されるかどうかということも含めて、中身も含めてレンタルを見直してもらって、大至急再提案してもらえればどうでしょうか。

【秋山副会長】

事務局からお願いしてもらっていいですか。今のお話のあった、半纏には大きなリスクがあるので、もう1回考えなおしてもらいたいということと、レンタルについては認められないと、それから交通誘導員の話についても、ちょっと高いのではないかということですね、全体を整理してもう1回提案してもらえないかということ、提案者に伝えてください。

【高橋委員】

再提案というのはあくまでも、提案をするという前提、採択を認めるという前提で再

提案ということを行わないとね。そういうふうに行わないと提案している、再提案した、またかよという話になる。

【熊木会長】

それでは今の意見を踏まえて、事務局の方で小猿屋の提案者に対して伝えるということをお願いします。

【滝澤係長】

確認させていただきたいと思います。半纏の部分は採択だということで、ただその品物が、今高橋委員がおっしゃったように、すぐに悪くなってしまう可能性もあるので、精査をしていただきたいと。それはよろしいでしょうか。

【秋山副会長】

精査というか、これではだめだと。高橋委員のそのご意見をもっと詳しく聞いていただいて、何年かもつようなものだったらいくらするのかということ。

【滝澤係長】

それから、収支計画の支出の部のレンタルの部分については、全て不採択ということによろしいですか。

【野島委員】

それからすみません、内容の中の⑧のところで、納品引き上げ賃1万4,400円。。これもレンタル品にかかる部分ですから除いてください。

【木澤委員】

だからレンタル代の部分の金額が変わりますが、半纏については了承という形にしていれば、追加募集じゃない範囲での処理になるかと。

【熊木会長】

一応、金額的には半纏とかそういうのも採択を今するわけですが、その金額だけは認めるという中で処理していただくということで再提出して、認めていくということで。今回、意見が出た部分で採決をして、それを伝えて書類の再提出でよろしいかと思いませんね。

今の意見で、意見が出尽くしたと思いますので、採択をしたいと思いますがよろしいですか。

(はいの声)

それではこの半纏代の部分は認めて、レンタルの部分は外すと。それを踏まえた上で先ほどの意見の半纏のグレードアップの意見を述べて、書類の再提出をしてもらう。半纏を含めたその部分に対して、事業として採択をするということで賛成の方の挙手をお願いします。

それではよろしくをお願いします。

(全員挙手)

全員で採択いたします。

では事務局もそういうことでよろしくをお願いいたします。

続きまして「提案No.7 中学生自立支援事業」について、ご意見のある方はおりますでしょうか。

(なしの声あり)

ないようですので、採択をいたします。この事業について採択に賛成の方の挙手を求めます。

(全員挙手)

全員です。採択いたします。

「提案No.8 第5回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業」について、ご意見のある方はおりますでしょうか。

【野島委員】

すみません。コンテストの時だけ、ぱっとやって、後は草ぼうぼうってのが実情なんですけど、ここに書いてある事業の目的及び期待する効果の中で、新幹線があって、佐渡汽船までの通路になったということだと。やるならきちんと管理していただいて、草ぼうぼうになっているようでは、これはやめてもらいたいと思うんですよ。そういうことをお願いしたい。

それからさっき私が質問したベンチですが、これ鎖で繋ぐと言ってもとても駄目だ。絶対これ盗難の恐れがあります。そして「なくなりましたから、またベンチをお願いします。」なんてことだと困るので、整備するのであればきちんと固定したものでないと、ちょっと好ましくないんじゃないかなと私は思います。

【横川委員】

ベンチを置く場所は、先ほど事業所にお問い合わせすると言いましたけれども。350同友

会の会員の事会員事業所の敷地内に置くつもりでいます。今置いてあるベンチも固定はしていませんが、会員の事業所の敷地内に基本置いてあります。

【澤田委員】

それは除雪等には関係ないのですか。

【横川委員】

除雪等には関係ないですね。冬場はしまうことにしていますから。

【野島委員】

その事業所の敷地内に置くということは、年間通して置くわけですか。

【横川委員】

年間通してですね。冬場はしまってもらって。その管理も会員事業所が管理する。会員事業所の倉庫にしまつて。冬場はしまつてあります。もし固定が必要でしたら、地面にボルトで固定してもらいたいと事業所をお願いします。

【秋山副会長】

コンテストがあった時にお花を見に来て疲れたということで座るとのことなのか、それとも敷地の中に置かれてあれば、その事業所のものというになっちゃうでしょ。

【横川委員】

事業所の歩道にギリギリ面しているところということですね。それが可能な事業所をお願いします。

【秋山副会長】

自由に座ってもいいという場所ですね。

【横川委員】

もちろん自由に座ってもいいという場所です。

【高橋委員】

基本的には、歩道ですとかそういうことがここにも書いてありますけれども、国道事務所や県の場合は、そこと交渉したりとか。それから歩道の幅が決まっていますから、それに対して設置するということは、そういう認可書が必要になるんですよ。そういう点で固定は、先ず歩道上では無理ですね。それから一般の事業所をお願いした場合も、今の野島委員の話ではないですが、固定をすると、今度は一定の場所になっちゃいますから、こういうコンテストの時にやっぱり人が一番多いところに移動できるということ

は必要だと思います。そうすると何が必要かという、このような値段の高いものにして、日中どうやって管理するのか。管理項目はどうするのか。例えば町内会で管理しますよというのは分かりやすいですが、個人のお店で管理しますよという、どこかに倉庫があってそこに入れますよということじゃないわけですから、それをどうするかということを確認しなければいけません。

【横川委員】

管理の責任としては「350同友会」ということになります。

【高橋委員】

そうですね。それが見えないわけです。それともう一つは、提案書の中に、350同友会の提案は4年目に入ってますよというのがありますが、これだけ花壇のものをやって、花壇をやる前と現在とでは来客数がどのくらい変化してきているかということ自体も何も記載がないわけですね。だから事業を実施した場合にこういうことをやることによって効果がでてきているんですよというものが無いと、やはり、ベンチの写真やカタログも無いですし、花についてもどんな花を買いたかっていうものが無いですし、数字だけの提案書ってのはあまりにもちょっと、ずさんすぎますね。

【木澤委員】

基本的には、事業の名称に書いてありますように、花壇コンテストというのが主たる事業の内容ですので、年間通して云々というのはまた別の範囲で350同友会が考えればいいはずですね。コンテストでは、花はコンテストに参加される方のそれぞれ自由なんですよね。

【高橋委員】

曰く、一過性のイベントのための提案ということですね。

【秋山副会長】

ですけれども、事業の大きな目的としては、350線の全体の活性化として、大変重要なことで要衝であるところの活性化を図るという意味でやってらっしゃるのであれば、この一過性のコンテストを通して継続的な地域の発展ということの考え方であれば、だんだんにそういう目的に近づくようにしていただきたいなと思います。

【熊木会長】

では今年度はどういたしましょう。

【横川委員】

青木委員から去年の提案時に御意見いただいていたのですが、多年草の苗を植えてくださいという話なんです、多年草の苗を植えてくださいという文言も募集案内の中に入れて、皆さんに多年草の苗を植えてもらっていただいて、かなりの多年草が芽を出してきていますが、芽を出さないものもあるようで、年間ずっと管理してもらうのが本当はいいんですけど、自分の土地の目の前だったら、管理できるんですけども、皆さん、結構離れたところで。それと一斉に草取りしたときに、新芽を抜いちゃったりしてるんですよ。夏に出てくる多年草は、春にはまだ芽が出ませんので。これから出てくるものもあるかもしれないです。

【秋山副会長】

そうすると、出てきている多年草の苗とか、先程あったベンチの資料ですとか、そういうものを付け替えていずれにせよ、もう一度、採択の審議ということでいかがでしょうか。

【澤田委員】

再提出されるんだったら、もう1点。ベンチですが、道路は両側あるのに奇数つのはおかしいんじゃないかと思うんだよね。道路の両わきに置くのに。

【横川委員】

1個、2個、3個はおかしいと。

【澤田委員】

奇数はおかしいと思うんだよね。再提案するんならそこも考えてほしい。

【横川委員】

そうですね。

【澤田委員】

それと同時にイベントの時だけじゃなくて、あそこの花壇の年間管理はどういうふうになっているのか、その資料も提出してほしいと思います。

【高橋委員】

ベンチどうするか、今4つという話なんだけど。

【木澤委員】

そこら辺も含めて採択しなきゃいけないわけだから、さっきの小猿屋のもあるから。

【秋山副会長】

再提案なさるのか、追加資料だけなのか。

【高橋委員】

再提案じゃないんですか。

【木澤委員】

資料不足だから再提案ですね。

【横川委員】

じゃ採択はされないと。

【高橋委員】

ちょっと、横川委員、この花壇コンテスト事業という、この表題はよくないな。

【横川委員】

花壇整備事業としてね。

【高橋委員】

整備だとかさ、そうすると年間通じてどうのこうの。要はこれのコンテストその日の、それだけのためにお金を使うのはという判断になりますよね。だからその整備事業だとか、整備をやる一つのイベントとしてコンテストを実施するんですよということ。そういうふうな形でまず表題を変えてもらって、中身は今言ったような資料でもね、そういう再提案をしてもらいと分かりやすいね。

【横川委員】

350同友会の組織の中には、コンテスト担当者と整備担当者が別にいるんですよ。

【木澤委員】

それ二つ決まらないと追加募集の金額が決まりませんよね。

【秋山副会長】

いずれにせよ、増やせば追加資料だけで臨めるかということなんですが。

【横川委員】

たぶん、追加資料を出せといわれれば、すぐに出せますし。ベンチの数と盗難防止のために何か対策しましょうということでしたら、その費用も提案できます。

【秋山副会長】

歩道には無理ですよ。

【横川委員】

歩道には無理ですので。

【高橋委員】

ただ、今の話で、資料だけだとだめだと思うんです。はっきり言って。要はこのイメージしているところの一番訴えたいところが、どうも見えないというのがありますので、何が見えないかという、皆さんの意見の話でいうと、日常管理も含めて、年に3回草取りをみんなでやるだとかいうようなこともちゃんと盛り込んで、その分金額も変えて、再提案されたらどうですかという提案を私はしたいです。いいですか。

【熊木会長】

はい、事業自体は認めるということなので、とりあえずもろもろ含めて再提出ということをお願いしたいと思います。

【野島委員】

ちょっとすみません、事務局にお聞きしたいのですが、この1個あたり6万円というのは相見積もりは必要はないの。

【滝澤係長】

3基合計で、10万円以上超えていますので相見積もりは出ています。

【木澤委員】

いずれにしても、350同友会の提案も含めてもう1回これについてはやればいい。

【高橋委員】

やってもらった方がいい。

【熊木会長】

それでは、再提出を求めることとします。事務局で何かありますか。

【滝澤係長】

今ほど、2件の提案について、保留という形で提案書を修正し、再提出いただくということで決定いただきましたので、事務局から提案者の方にお伝えし、再提出いただいた後、緊急に協議会を開かせていただくということで、日程については、会長と御相談したいと思います。

それから追加募集の件については、金額まだ決定しておりませんが、周知の予定もありありますので、追加募集を行うかどうか御検討をいただきたいと考えています。

【熊木会長】

配分額が残っていますので、追加募集をするということによろしいでしょうか。

(はいの声)

追加募集をかけるということによろしくお願いいたします。

【滝澤係長】

それで追加募集の募集期間という話になるのですが、私ども事務局の方では当初、本日お決めいただければ6月15日のたよりで周知しまして、7月1日から7月15日の間で募集という形によろしいでしょうか。

【熊木会長】

そのようお願いします。

【木澤委員】

保留の件については初旬に開催すれば間に合いますね。

(日程調整)

【熊木会長】

それでは6月2日、13時30分からということで。時間的には10分か15分で終わる。よろしくお願いします。

他に何かありますか。

【滝澤係長】

特にありません。

【熊木会長】

それでは以上を持ちまして、本日の会議を終了したいと思います。本日はどうもありがとうございました。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。